

安全衛生教育

京急サービスでは安全衛生活動として、新入社員や職場リーダー、高齢者、日本語が不得意な従業員、自動車運転者に向けたテキストや繰り返し学習による安全衛生教育を行っています。



新入社員向けテキストには高齢時教育も含まれます

20 年 月 日
京急サービス

新入社員を中心とした安全教育

- なぜ、新入社員向けの安全教育をするのか？
 - 京急サービスでの就業1年未満職員の割合 職員数: 約 % 労働災害件数: 約 %
 - 新入社員だけでなく、や に慣れないときは事故などに巻き込まれる可能性が高い
- 安全カード「安全に業務を行うために」って何？
 - 京急サービスの特徴
 - 業種業態が
 - どの職場でも共通するであろう安全業務の基本事項をまとめたもの
 - 1人1枚配布しているカード
 - 詳細は別紙参照

安全に業務を行うために

2015年1月
京急サービス株式会社
京急サービスグループ

注意喚起

※注意喚起
- 加齢と心身機能 ~東京労務局パンフレット「高齢化時代の安全・衛生」より~

労働災害について
50歳以上の死亡および休職4日以上労働災害の原因で特によく多いのは次の2つ

①転倒（転んだ、滑った）26% ②墜落、転落（高いところから落ちた）21%

加齢に伴う心身機能の変化
20歳~24歳もしくは最高潮期を100とすると
55歳~59歳の心身機能は右図のように低下します

(抜粋)

瞬発反応 71

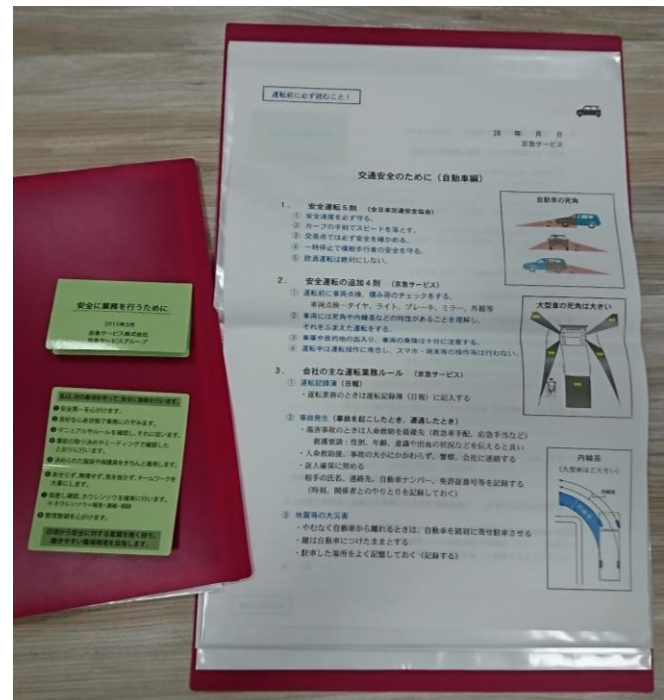
平衡機能 48

聴力 44

視力 63

※加齢することで、若いころに比べ心身機能が低下することを理解し、無理せず、余裕をもって、業務にあたるよう心がけましょう
- 最後に

以上
201602CSR 安全



安全の基本事項を8項目にまとめたカード「安全に業務を行うために」、繰り返し安全衛生関連資料を読み返す「安全ファイル」(交通安全関連ページ)